



躍進の フレッシュマン

小林竜二 (28)

はじめまして。本年
二月末に入社いたしま
した小林竜二と申しま
す。前職は、公園等に設
置してあるFRP製オ
ブジェ制作に携わって
いました。そのため、
FRPの仕組みについて
は精通していたので、
躍進入社後は、造形部
門から防水部門に異動
したような感じで、す
ぐに仕事に溶け込めま
した。

仕事は厳しく遊ぶと
きはアットホームな躍
進の空気が大好きです。
今後は防水だけでなく
防蟻、そして営業と自
らのフィールドを広げ、
会社に貢献していく所
存です。

高性能プラスチック断熱内窓

メルツエンサッシ

福島第一原発事故に端を発した省エネの機運の高まりは、かつてないほど危機感に切迫されています。冷房に消費する電力をいかに抑えてこの夏を乗り切るか、まさに試練を迎えているといつても過言ではありません。そこで、躍進がお薦めするのは、高性能プラスチック断熱内窓『メルツエンサッシ』です。

既存の窓の内側に、後 窓から失うエネルギーの五〇%以上 をカット

既存の窓の内側に、後

メルツエン内窓（単板ガラス）を入れることで窓から失うエネルギーの五〇%以上をカットすることができます。家全体の熱損失エネルギーの約二四%も押さえられることになります。

また、冬場の暖房費に換算しても、年間約四万円（窓又は天井、外壁、ドア、一般床、窓、換気）の熱損失量が、ホワイト、ウッドベージュ、ウッドブラウン、ダークブラウンの四種類の色柄で、インテリアとのコーディネートも可能。

対象（エコリフオームの窓の断熱改修）でもあり、対象期間の短縮（面設置）もあり、このチャンスを逃さないでください。

施工もラクラク カラーは四色、

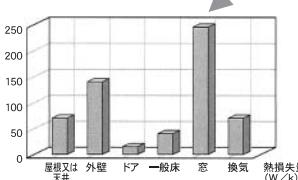
施工もラクラク

メルツエンサッシ内窓 効果比較

こんなに違う、暖冷房費と熱の逃げ方！

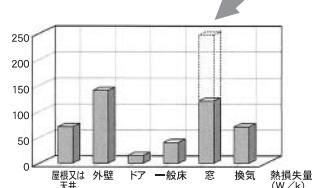
◎アルミ単板ガラスのみ

窓から逃げるエネルギー熱量は非常に大きいです。アルミ製単板の窓では以下の様に家全体の4割以上になります。（断熱性能：旧省エネ基準レベル、延べ面積約41坪の一戸建てモデル住宅の場合）



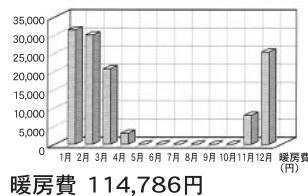
◎アルミ単板ガラス+メルツエン単板ガラス

メルツエン内窓（単板ガラス）を入れることで窓から失うエネルギーの約50%以上をカットすることが出来、家全体の熱損失エネルギーの約24%も押さえられます。

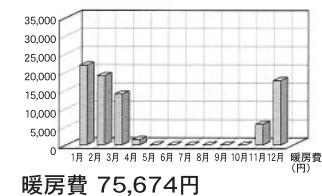


なんと、暖房費を比較すると4万円もお得！！

◎アルミ単板ガラスのみ



◎アルミ単板ガラス+メルツエン単板ガラス



(条件：地域は東京、暖房設計温度18°Cとして全室を暖房した場合の比較。延べ面積約41坪木造戸建住宅の例)

冷房費の節約にも効果的！

再活と「ビル守り」はお任せください。 再生・活用

不動産の資産価値を高めるための 総合プロデュースを担う「コラボレーションシステム」

株式会社 ヤクシンジャパン

〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1

TEL 048-688-6111 FAX 048-680-7615

設計 事業
不動産事業
提携先

設計 商業施設・プロデュース インテリアコーディネーター
不動産売買・仲介・リニューアル（プランニング・施工） 不動産再活（再生・活用）
コンサルティング業務（資産価値の最大化、相続対策、資産運用、事業承継対策、M&A、住宅ローンアドバイザー、不動産管理）
ファイナンシャルプランニング

弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、ファイナンシャルプランナー（CFP、AFP）

被災者の法律相談深刻 懸念は「二重ローン」

東日本大震災の被災地で弁護士らが被災者の法律相談にフル回転で対応しています。

特に深刻なのが、住宅ローン返済中に津波で家を失った人が、別のローンを背負う「二重ローン」の問題です。

4月29日から5月1日まで、宮城県内の避難所13カ所を回り、被災者の相談に乗った愛知県弁護士会所属の弁護士10人は、厳しい状況を感じ取ったといいます。

住宅ローンを返済中に地震で家を失った人が家を建てようとすると、さらに住宅ローンを借りなければなりません。被災者生活再建支援制度から出る最大300万円の住宅資金だけではとても足りません。

家だけではなくクルマのローンも残っている人も多く、2台必要な人にとっては、家の二重ローンに加えて車の四重ローンで、計六重ローンになってしまい、とても生活が成り立つ状況なのです。

日弁連は、二重ローンを抱えざるを得ない個人や企業について、金融機関側が既存のローンの債権を放棄する制度の創設を提言しています。政府も、二重ローンの負担を軽くする仕組みの検討を始めました。

しかし、実現までの壁は厚いといえます。

債権を放棄する側の負担を最終的に誰が引き受けるのか。財政難の国が大きな負担割合を背負えるのか。

これまでの自然災害でも、二重ローンを抱えた個人や企業の既存債務を帳消しにする制度が実施されたことはなく、今回だけ制度を導入すると、公平性の問題も生じてしまします。

1995年の阪神大震災後も、二重ローン問題が国会などで盛んに議論されたものの、結局既存債務は減免されませんでした。

弁護士からも「平成の徳政令によって、債権債務の放棄を実現するのは相当な難題かもしれない」という声が聞こえます。

対象期間を五ヶ月短縮 住宅エコポイント七月末着手の工事までに

国土交通省、経済産業省、環境省の三省は五月十三日、住宅エコポイントの工事対象期間を短縮すると発表しました。これまで十二月末までに着手した工事が対象となつ

ていましたが、これを五ヶ月短縮し、七月末までに着手した工事に対しボイントを発行します。申請や交換期限の変更はありません。

二〇一一年になつてか

ていましたが、これを五ヶ月短縮し、七月末までに着手した工事に対しボイントを発行します。申請や交換期限の変更はありません。

二〇一一年になつてか

ら、申請が大幅に増えており、七月末着手分の工事で、累計二四〇〇億円超確保した予算枠に達する見通しです。「駆け込みの短縮を決めたよう

も考慮しての判断」とし

ています。

予算上、新築・リフォームともに六〇万戸分の申請を想定していますが、四月時点での申請件数は、新築が約三三万戸、リフォームが約三八万戸。

ムともに六〇万戸分の申

請を想定していますが、

予算上、新築・リフォームともに六〇万戸分の申

請を想定していますが、

